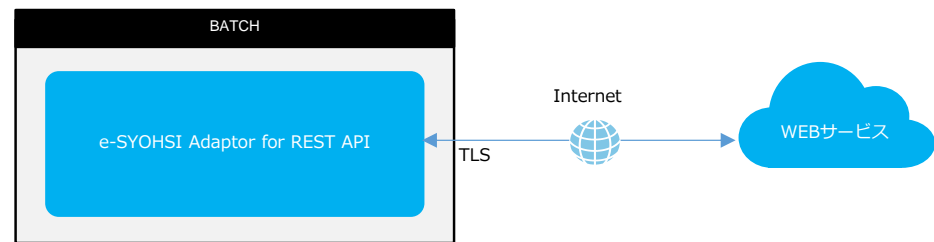


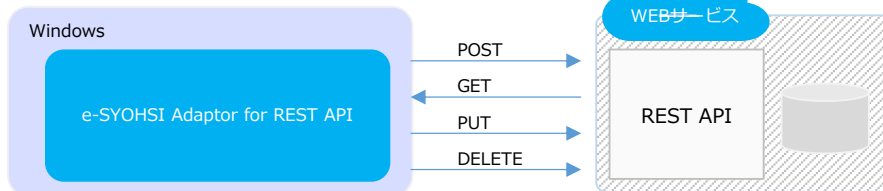
e-SYOHSI Adaptor for REST API V3.1 概要

Webサービスが公開するWeb APIに接続するツールです。
REST方式に対応した接続形態ですので、汎用的な接続ツールとしてご利用いただけます。
e-SYOHSI製品群との柔軟な連携構成により、お客様システム環境のファイルや様々な情報をWebサービスへ橋渡しするのに役立ちます。



HTTPメソッド

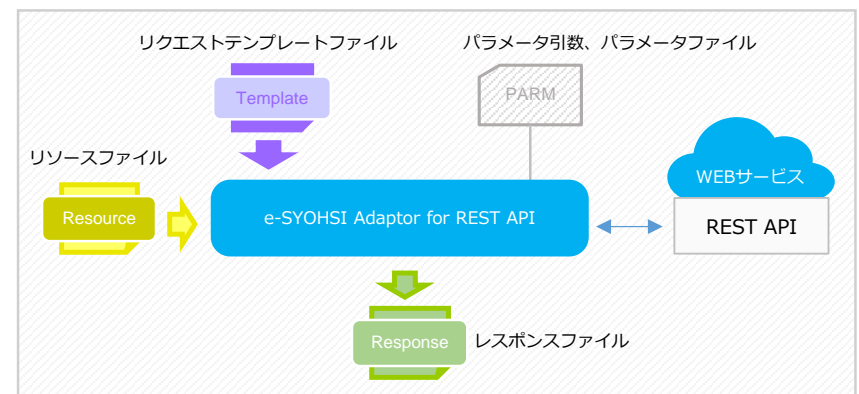
システム環境（オンプレミス・クラウド）



HTTPメソッド	機能	パラメータ	
POST	登録	JSONデータで送信	Webサービス上にリソースを作成します。任意のファイル等のアップロードに役立ちます。
GET	取得	HTTPのクエリ文字列で送信	Webサービス上のリソースの取得を行います。
PUT	更新	JSONデータで送信	Webサービス上のリソースの更新を行います。
DELETE	削除	HTTPのクエリ文字列で送信	Webサービス上のリソースの削除を行います。

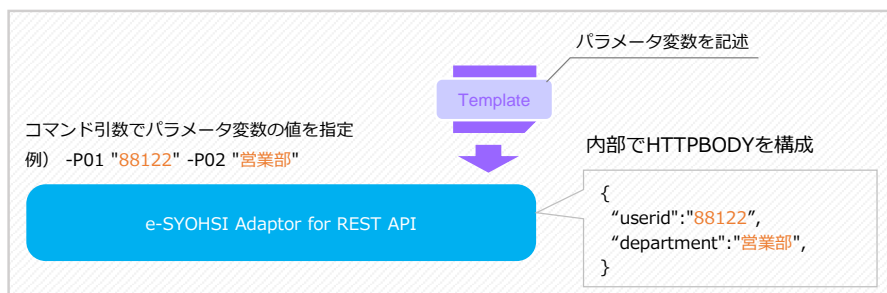
汎用的な接続制御（リクエストテンプレート）

リクエストテンプレートとは、Webサービスが公開するWeb API（REST API）の仕様に基づいて事前設定するリクエスト情報の雛形ファイルです。
Web API との接続に必要なURL情報やパラメータ情報をテンプレート形式で汎用的に設定します。また、テンプレートには変数指定が可能ですので自由度高く動的な値の設定ができます。



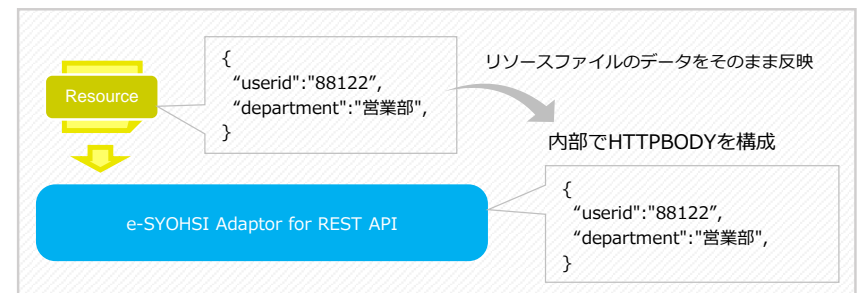
リクエストテンプレートの活用 -パラメータ変数-

コマンド実行時引数（-P01~-P30）で与えた値を変数として使用することができます。
この変数をパラメータ変数といい、リクエストテンプレートに反映することで、実行時の動的な値の設定が可能になります。



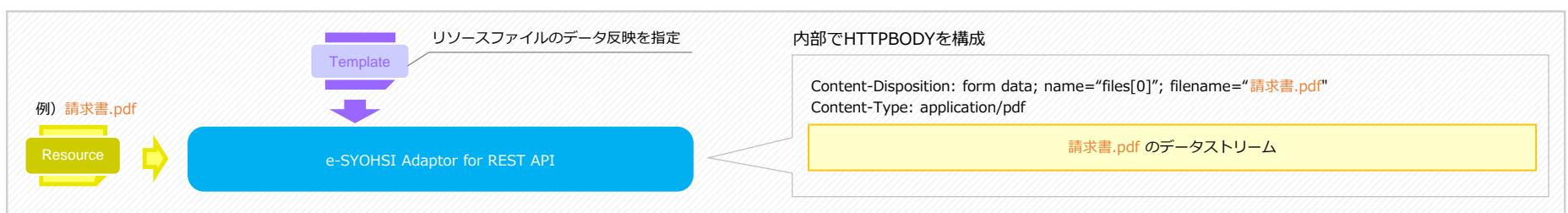
リソースファイルで値の引き渡し

リソースファイルのデータをリクエストテンプレートに反映する例です。
アプリケーション等での自由なデータ作成による汎用的な活用が可能になります。



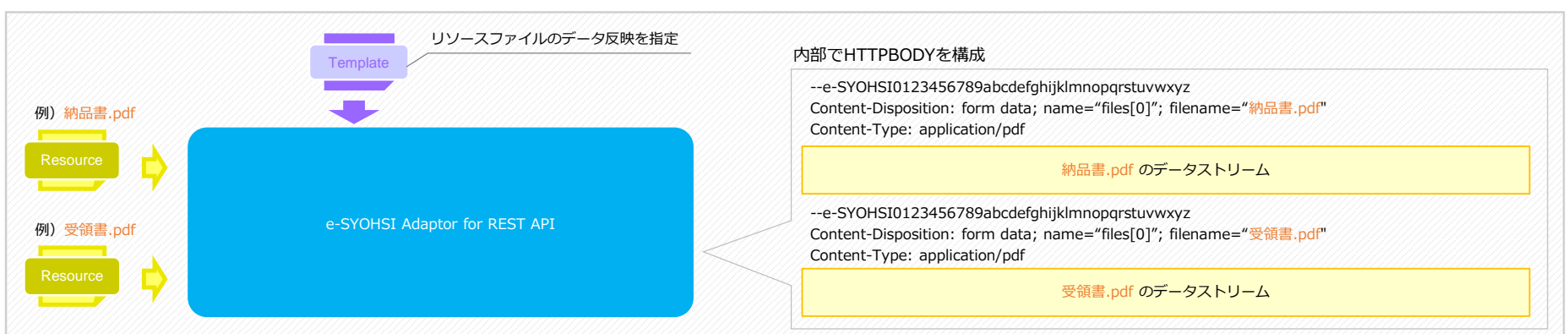
リクエストテンプレートの活用 -ファイルハンドリング①

リソースファイルのデータストリームを反映することができます。



リクエストテンプレートの活用 -ファイルハンドリング②

複数のリソースファイルをマルチパートフォームデータに展開することも可能です。

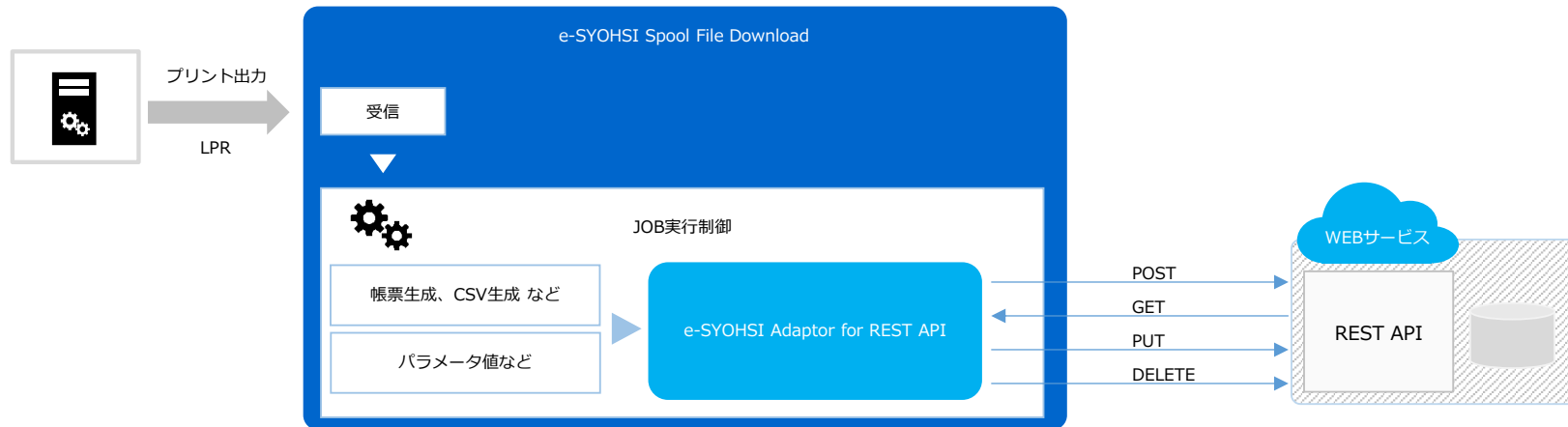


構成例

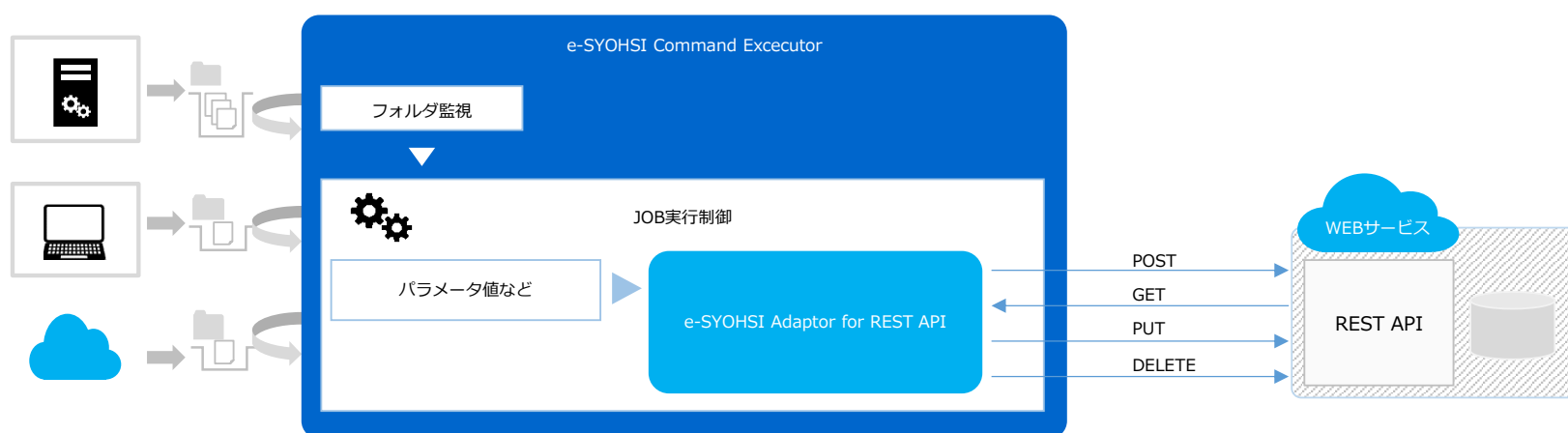
■ コマンドインタフェースによる多彩な実行

Windowsバッチコマンド形式ですので容易に他プログラム等からの実行制御ができ、様々なシステム構築に適用することができます。

▶ e-SYOHSI Spool File DownloadのPluginとして実行



▶ e-SYOHSI Command ExecutorのPluginとして実行



▶ アプリケーションや一般ソフトウェア（EAI等）からの実行

